

## お助け観音

この観音様は、上鹿妻在住の滝村氏が昔鹿妻堰清掃の折、水底より発見し信仰していた62センチの石彫の聖観音菩薩で、不退院責任役員であり元盛岡市議会議員の戸塚孝氏の計らいで境内に祀ることになったのが、昭和61年(1986)のことである。



お助け観音

いかなるわけか水底にあって、今再びこの世現れ  
苦しみ多い現世の人々を救わんとする、そのみ心に  
叶うようにと「お助け観音」と名づけたのである。

全てのこだわりを捨て、ただひたすら、み仏の救い  
の手にすがれば、必ずや心の安らぎを得るだろう、と  
いう思いがあるからであ。